



小江原小学校だより

光満つ丘・空と風

令和6年6月17日号

文責：秋山壽哉



「『あたり前』ではない…『水』」

6月14日(金)、4年生は、長崎市上下水道局職員3名の皆様に講師としてお招きし、長崎市における上下水道の仕組みなどに関する「出前授業」を開催しました。



私たちの暮らしに欠かすことができない水…
水道の蛇口をひねると出てくる水…
でも、いったいどのようにして、安心・安全で綺麗な水が、私たちの家庭や学校に届けられているのでしょうか？

この疑問(課題)を解決すべく、4年生は学びに向かいました。事前に学習した内容と水道局の方々に教えていただいた内容とを照らし合わせながら、学びを深めることができました。

○浄水場で1日につくられる水の量は？

☞12万3800トン(お風呂約62万杯分！)

○長崎市にある全ての水道管の長さの合計は？

☞長崎市から北海道まで！(約2500km)



子どもたちは、実験やクイズにも挑戦し、「大切な水」「命を支える水」について、楽しく学ぶことができました。

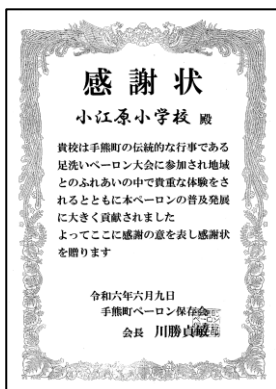
「水を飲むことを『あたり前』と思っていたけれど、あたり前のことではなく、たくさんの人の努力があることが分かりました。」

子どものこの言葉に、学びの深まりを感じます。

「手熊町『足洗いペーロン大会』」

手熊地区自治会のご支援をいただき、6月9日手熊町海岸において標記大会が開催されました。

天候が心配されましたが、雨や風の影響を受けることなく実施され、20名を超える小江原っ子が参加しました。



感謝状

小江原小学校 殿

貴校は手熊町の伝統的な行事である足洗いペーロン大会に参加され地域とのふれあいの中で貴重な体験をされとともに本ペーロンの普及発展に大きく貢献されましたよってここに感謝の意を表し感謝状を贈ります

令和六年六月九日
手熊町ペーロン保存会
会長 川勝貞敏

小江原っ子は、他のチームに負けにくいくらい気合を入れ、リズムを合わせながら一体となって漕ぎを漕いでいました。みんなが満足した表情でした。

お世話をしてくださった小江原中校区育成協の皆さま、育友会をはじめとする保護者やご家族の皆さまのご協力に心からお礼申し上げます。

「小江原っ子に会いに来てください！」

6月25日(火)から7月1日(月)までの期間は、本校における「長崎っ子の心を見つめる」教育週間としての取組を展開します。

保護者やご家族の皆さまをはじめ、地域の皆さまも、ぜひ、学校にお越しください。

詳しくは、本校ホームページの「教育週間のお知らせ」をご覧ください。

皆さまのご来校を、小江原小学校みんなが心よりお待ちしております。

長崎市長小江原小学校 🔍 検索